

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月13日

群馬県知事 山本 一太 様

提出者 〒379-0195
住 所 群馬県安中市磯部 2丁目13番1号
氏 名 信越化学工業株式会社 群馬事業所
事業所長 佐藤 行徳
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 027-385-2120

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	信越化学工業株式会社 群馬事業所 松井田工場		
事業場の所在地	群馬県安中市松井田町人見 1－10		
事業の種類	大分類:製造業 中分類:化学工業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月 1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2, 483. 5t	全処理委託量	2, 262. 5t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	優良認定処理業者への処理委託量	2, 237. 2t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	102t	再生利用業者への処理委託量	25. 3t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	67t	認定熱回収業者への処理委託量	－ t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	119t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t
※事務処理欄			

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 廃油)	
---------	--	----------------	--

有償物量	
不要物等発生量	

自ら直接 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量
② —	⑧ —

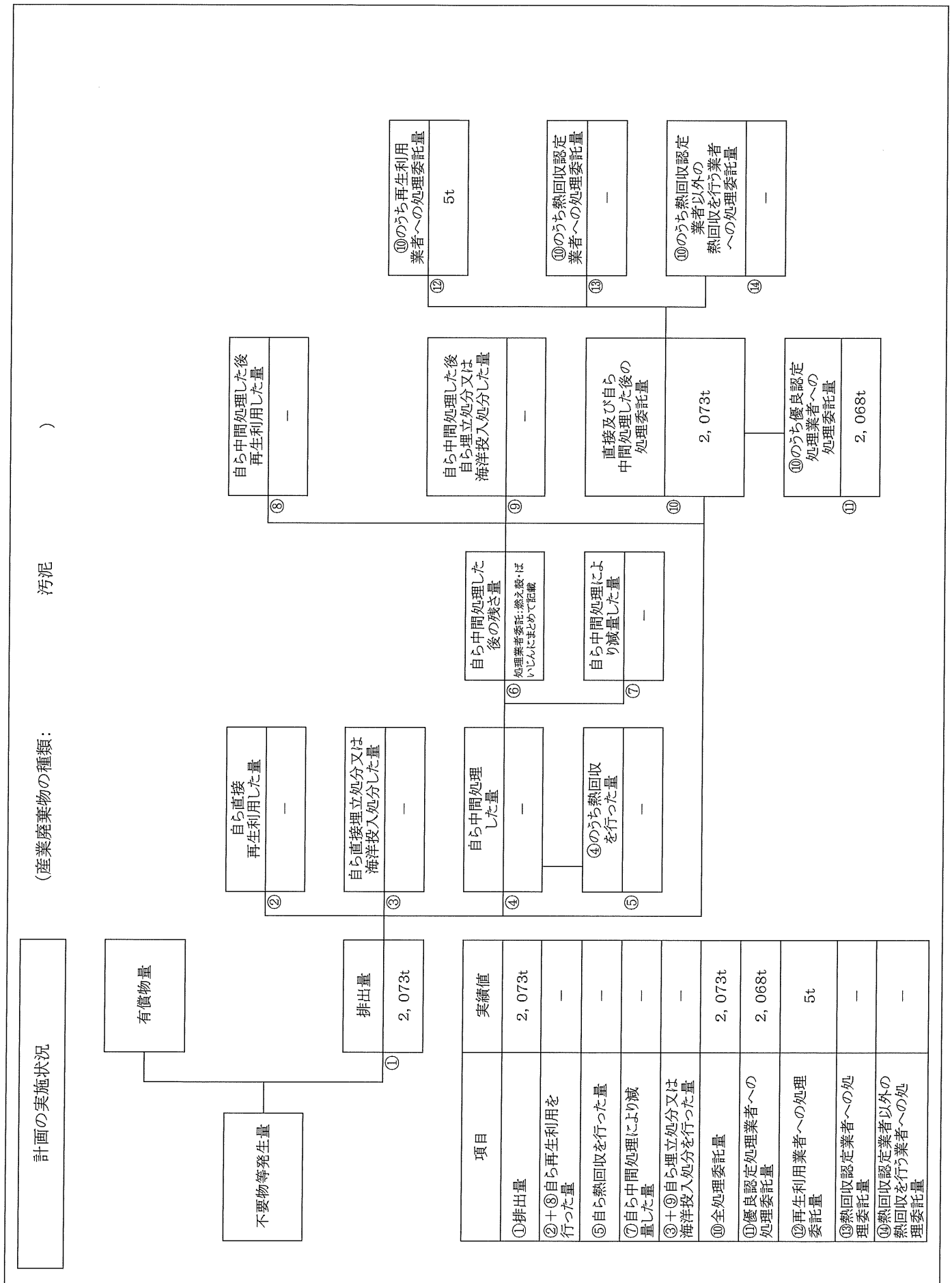
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した量
③ —	④ —

自ら中間処理した後の残量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑥ —	⑨ —

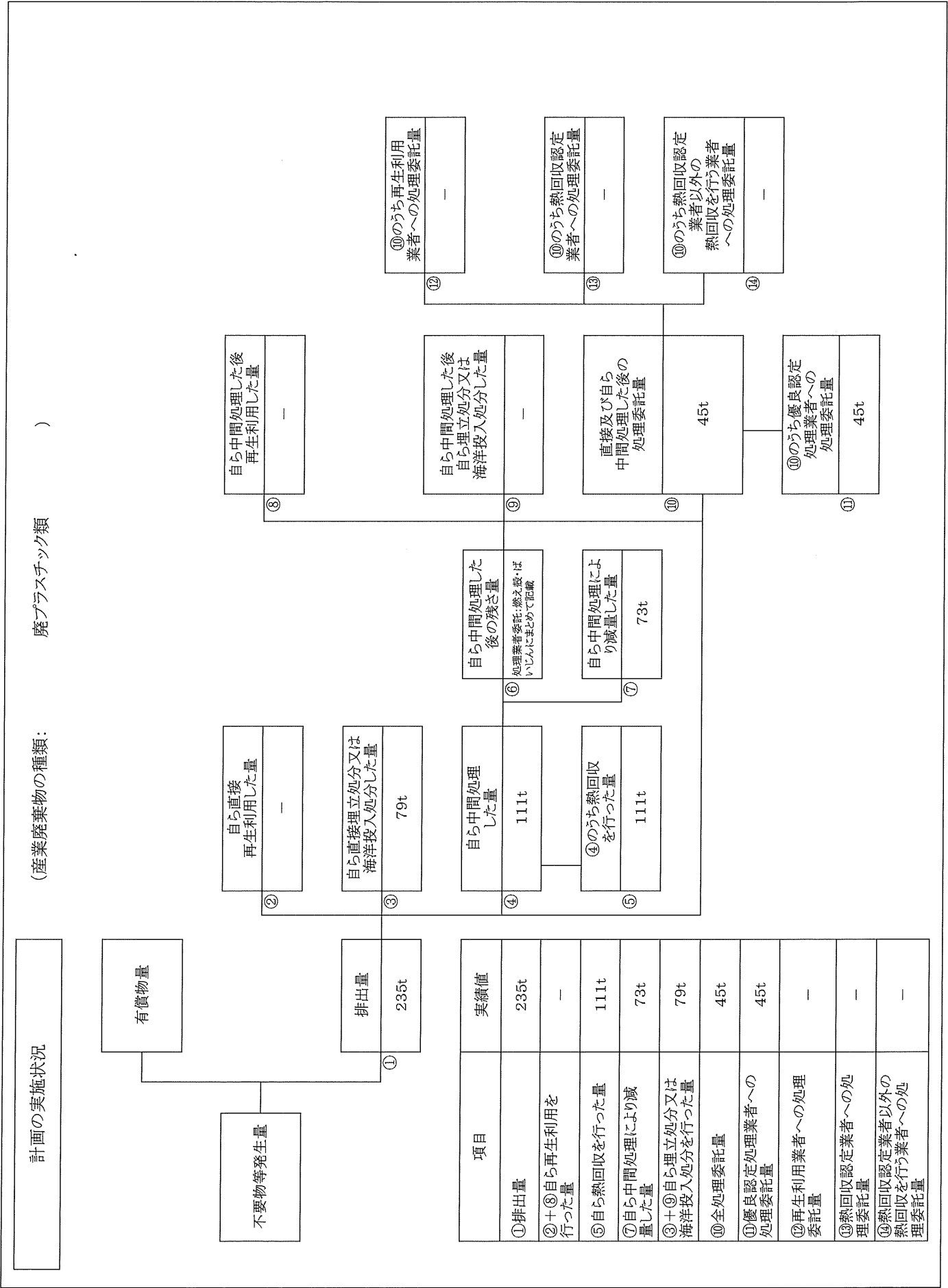
④のうち熱回収 を行った量	⑦ —
⑤ —	⑩のうち熱回収により 減量した量

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬ —
⑪ 132t	⑭ —

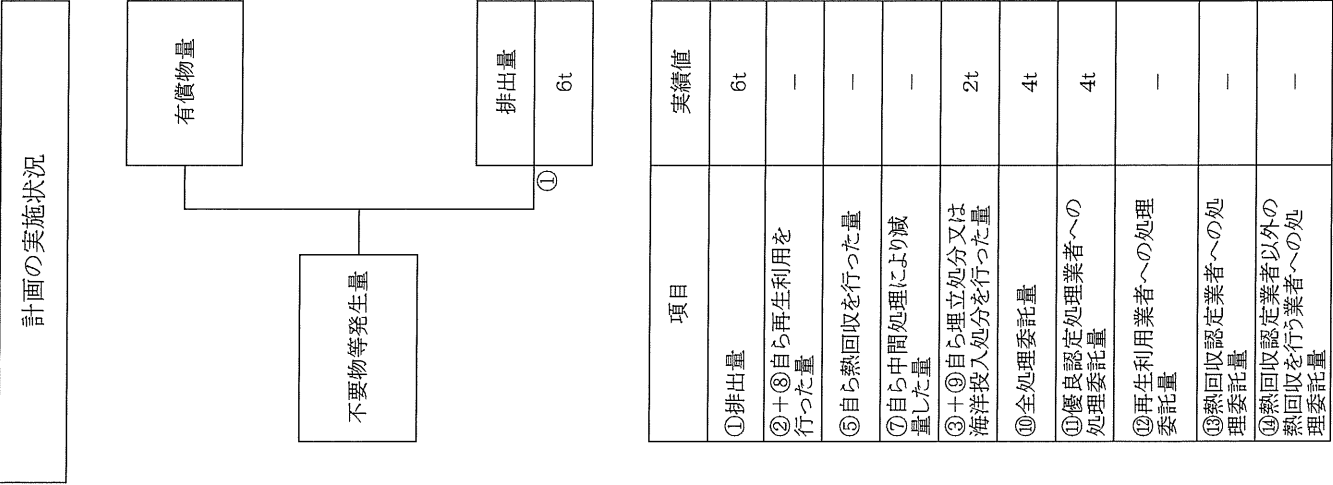
項目	実績値
①排出量	132t
②+⑧自ら再生利用を行なった量	—
⑤自ら熱回収を行なった量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	—
⑩全処理委託量	132t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	132t
⑫再生利用業者への処理委託量	—
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

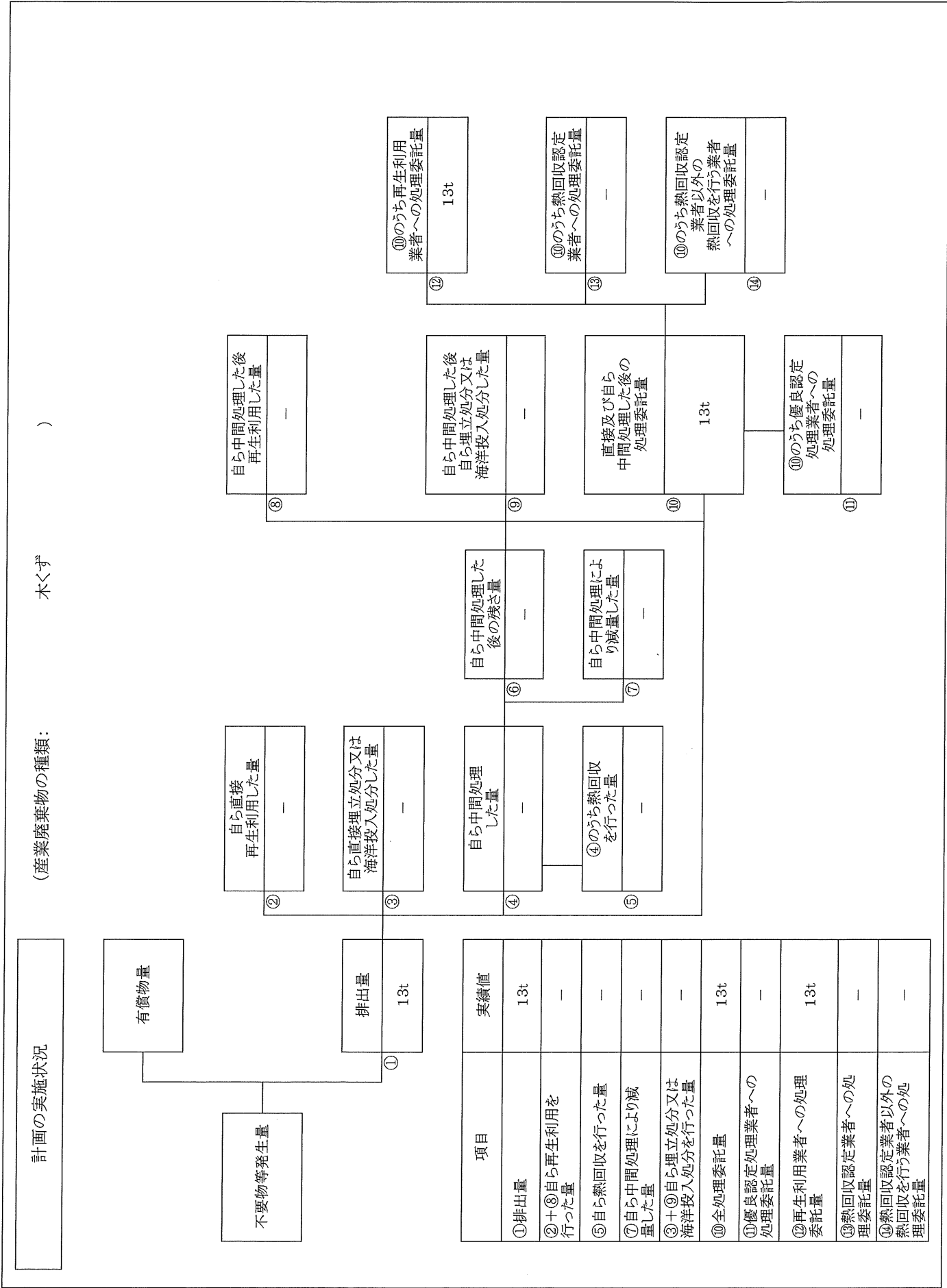


計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)	
有償物量			
不要物等発生量			
排出量	27t		
①			
②	自ら直接再生利用した量	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
④	自ら中間処理した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
⑤	④のうち熱回収を行った量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑥	自ら中間処理した後の残さ量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑦	自ら中間処理により減量した量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑧	④のうち熱回収を行った量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	
⑨	④のうち熱回収を行った量		
⑩	27t		
⑪	27t		
⑫	—		
⑬	—		
⑭	—		
⑮	—		
⑯	—		
⑰	—		
⑱	—		
⑲	—		
⑳	—		
㉑	—		
㉒	—		
㉓	—		
㉔	—		
㉕	—		
㉖	—		
㉗	—		
㉘	—		
㉙	—		
㉚	—		
㉛	—		
㉜	—		
㉝	—		
㉞	—		
㉟	—		
㊱	—		
㊲	—		
㊳	—		
㊴	—		
㊵	—		
㊶	—		
㊷	—		
㊸	—		
㊹	—		
㊺	—		
㊻	—		
㊼	—		
㊽	—		
㊾	—		
㊿	—		



(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)





計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

有償物量

不要物等発生量

①排出量1t

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1t
②+⑧自ら再生利用を行った量	-
⑤自ら熱回収を行った量	-
⑦自ら中間処理により減量した量	-
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	-
⑩全処理委託量	1t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1t
⑫再生利用業者への処理委託量	-
⑬熱回収認定業者への処理委託量	-
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

⑨ 自ら中間処理処分又は海洋投入処分した量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収を行う業者熱回収を行わない業者への処理委託量

排出量

0.4t

①

0.4t

項目	実績値
①排出量	0.4t
②+⑧自ら再生利用を行った量	—
⑤自ら熱回収を行った量	—
⑦自ら中間処理により減量した量	—
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	—
⑩全処理委託量	0.4t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	—
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	—
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

別添 令和6年度 産業廃棄物処理状況

単位 t

廃棄物 区分	廃棄物名称	発生量の 目標	①産業 廃棄物 発生量	②自己 直接再 生利用 量	③自己 直接埋 立処分 量(自社 埋立)	④ 自己中間処理量		⑤自己 中間処 理後残 渣量(焼 却灰)	⑥自己 中間処 理後自 社再生 利用量	⑦自己 中間処 理後(自 社直接 埋立処 分量)	⑧直接 委託及 び自己 処理後 委託分 量	⑧業者委託処分量		
						脱水量	焼却量					再生利 用量	中間処 理量(再 生以外)	最終処 分量
廃 油	廃油	90	132								132		132	
	小計	90	132								132		132	
汚 泥	スラッジ	1,835	2,055								2,055		2,055	
	余剰汚泥	5	5								5	5		
	無機汚泥	8	13								13		13	
廃 酸	小計	1,848	2,073								2,073	5	2,068	
	廃酸(洗浄廃液他)	0	0								0		0	
廃アルカリ	小計	0	0								0		0	
	廃アルカリ	250	27								27		27	
廃プラスチック	小計	250	27								27		27	
	MCくず	22	8											
	フレコン他	32	37								8		8	
	ゴム、シリカ	115	79		79						37		37	
	原料ビニ袋他	102	111				111							
ガラス及び陶磁器くず	小計	271	235		79		111				45		45	
	サンブル・ガラスビン	0	4								4			4
	ガラスビン・陶器くず	4	2		2									
	小計	4	6		2						4	0	0	4
木くず	パレット木屑等	20	13								13	13		
	小計	20	13								13	13		
金属くず	屋敷・廃缶・電池	0.2	1								1		1	
	小計	0.2	1								1		1	
水銀使用製品	照明等	0.3	0.4								0.4	0.4		
	小計	0.3	0.4								0.4	0.4		
燃え殻	焼却灰									0	0		0	
	飛灰									0	0		0	
合 計		2,483.5	2,487.4	0	81	0	111	0	0	0	2,295.4	18.4	2,273.0	4